

## 当院での「東京都チャイルドデスレビュー 2012年パイロットスタディ」について

当院では、「東京都チャイルドデスレビュー 2012年パイロットスタディ」(多施設共同研究)に参加しております。この研究は乳幼児の死亡に係る正しい情報を収集し、予防可能な因子を把握することを目的として行います。この研究は、東京都福祉保健局と厚生労働省の「我が国におけるチャイルド・デス・レビューに関する研究」の調査研究班が中心となって行います。東京大学医学部附属病院は分担研究施設に登録しています。

### 【対象となる方】

平成23年1月1日～平成23年12月31日の間に東京都内にて0-4歳で亡くなられた方

### 【研究の意義】

子どもの死を防止する施策を進めるために、海外ではチャイルドデスレビューが行われ、成果が上がり、世界的に広がっています。特に、虐待死、事故や自殺による死亡の検証は、その実態を明らかにして子どもの死を防止する対応策の構築に役立っています。

### 【研究の目的】

この研究は、亡くなった原因に係る正しい情報や、予防可能な因子を把握するとともに、今後の日本においてもチャイルドデスレビュー制度を整えるに当たっての問題点を把握することを目的として行います。

### 【研究の方法】

この研究は、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」を守り、日本小児科学会および東京大学医学部の倫理委員会にて承認のうえ実施されます。対象期間に東京都内で発生した対象年齢の亡くなったお子さんについて、研究者が病院を訪問して主治医、必要があれば担当看護師から質問票に基づいた聞き取り調査させていただきます。特に患者さんやご家族の方に新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにお子さんのデータを使用してほしい場合は、お子さんの主治医にお伝え頂くか、下記の研究事務局に平成25年6月30日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合は、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定できない形で関連の学会および論文にて発表されます。収集したデータは個人情報情報は削除し、匿名化して個人情報情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払われたうえで厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお、研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示します。下記までご連絡ください。この研究にご質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

平成24年10月22日

**【研究機関名】**

厚生労働省政策科学総合研究事業

『我が国におけるチャイルド・デス・レビューに関する研究』

「東京都チャイルドデスレビュー 2012年パイロットスタディ」事務局

国立成育医療研究センター研究所 成育政策科学研究部内

電話：03-3416-0181(内線 4230・4261)

担当：椎間優子 森崎菜穂

東京大学医学部附属病院は分担研究施設に登録しています。

**【問い合わせ、苦情の連絡先】**

東京大学医学部附属病院小児科 張田豊

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-5800-8659

Email でのお問い合わせ:haritay-ped@h.u-tokyo.ac.jp